

西田布施公民館において、令和最初の成人式が行われました。式典では、平成11年4月2日～平成12年4月1日までに生まれた新成人109人が集まり、代表として黒田涼太さんがスピーチを行い、二十歳になった決意、その思いを皆さんに届けました。

記念行事『恩師と語ろう』では、懐かしい先生方の登場に会場は大盛り上がり。また、成人式実行委員会の企画による『茶話会』においては、旧友との再会に喜びつつ、会場のおちらこちらで会話の花が咲き、興奮冷めやらぬまま幕を閉じました。

『二十歳の夢と思い』

新成人となった皆さんが抱く夢や思い。参加者の皆さんにお聞きしました。

馬場 美咲

成人を迎えて、健康に気をつけていきたいです。

飯尾 雪音

柔道整復師の免許をとって、いろんな人のコリをとりたいです。

徳野 璃奈

素敵な看護師になる！

黒田 凌太

大学で学んだことを活かせる職に就きたい。

高尾 咲葵

私が子どものころに、たくさんの思い出をもらったように、たくさんの子どもに夢と笑顔を与えられる先生になりたい！

加藤 太成

家を建てる。

地家 隆裕

長生きする。

杉尾 ひとみ

社会心理学に精通したい。

浅海 亮祐

田布施民の心を忘れずがんばります。

田中 里沙

無事に成人を迎えられたことを嬉しく思います。これからは成人としての自覚を持ち、責任ある行動と人を思いやる心を忘れずに、社会に貢献していきたいです。

井神 萌

いろんな人に出会って、いろんな経験をして、人生エンジョイしていく!!

吉次 夏菜

ステキな看護師になる！



私たちと人権シリーズ No.134

笑顔と感謝の心を大切に

田布施町立城南小学校長

叶山 雅隆

『ぼくらはみんな生きている 生きているから歌うんだ・・・』本校の1・2年生が、たぶせ苑を訪問した時に歌った曲です。苑では月1回音楽セラピーが開催されており、子どもたちは、それに合わせて参加をさせてもらっています。

このセラピーを指導される先生の選曲に合わせて、指遊びや肩たたきをして、利用者の皆さんとふれあう活動を行っています。子どもたちの何倍も生きてこられた皆さんを前に、元気な歌声と素敵な笑顔をお届けしています。皆さんには、とても喜んでいただき、思わず「かわいいね。」と声をかけてくださる場面もありました。

また、田布施総合支援学校の小学部の皆さんとも交流学習を行います。例えば、1・2年生は、春の



遠足で支援学校まで歩き、それから一緒にさつま芋の苗植えを行い、昼休み時間を楽しく過ごしました。秋には、芋ほり交流で、春に苗植えしたさつま芋の収穫です。1人では引っ張り出せないお芋に、2人3人が協力して、思わず「よいしょー!」のかけ声が…。出てきたお芋に「やったー」とみんな笑顔になりました。さつま芋を育てていただいたお礼に、子どもたちは運動会で踊った『パプリカ』ダンスの披露です。支援学校の子どもたちも曲に合わせて歌ったり、踊ったりする姿に、見ている人も思わず笑顔。

そして、今年開催される東京五輪・パラリンピックを前にして、北京五輪50km競歩7位の山崎勇喜選手との運動に親しむ交流会が支援学校で開催され、5年生7人も参加しました。日本を代表する選手の速さにみんな驚きと一緒に運動できた喜びに、またまた笑顔です。

これ以外にも、本校の子どもたちは、公民館行事やこころ教室（放課後子ども教室）、防犯パトロール隊など、多くの皆さんに見守られており、「ありがとうございます。」の毎日です。子どもたちが成長し、この城南や田布施の笑顔あふれるまちづくりに一役担ってくださることを願っています。



成人おめでとうございます！

これからも自分らしく、どんな時でも前を向いて歩いていていこう！

若いうちになくさん楽しもう

いろいろ大変なこともあると思うけど頑張れ！

夢見る事は出来る事

今やりたいことは思う存分、後悔しないようにやっておこう

一日一日を大切に、何事にも全力で

様々な物事に興味を持つとう

これから人生に、たくさんの幸せな出会いがあるように祈っています